



リハビリ科の新人研修 前編

5月に紹介しました新人4名も、約半年間の研修を終え、現在リハ科の職員として業務に取り組んでいます。今回は、新人4名の1年間の研修模様（前編：4～6月）について感想を交えながらご紹介致します。

4月

オリエンテーション
病院紹介、新社会人としてのマナー、医療安全や情報管理などを中心に講義を受けました。

社会人としての礼儀や身なり、また、リスク管理や衛生面について確認出来ました。

各部署研修
ひと月ごとに病院部門・介護部門にて研修を行いました。

先輩療法士とマンツーマンでの研修で、安心して臨床に臨めました。またチェック表を使用し、リハビリに必要な評価などを確認し進めることが出来ました。

5月

実技練習
始業前に新人同士で協力しながら、実技や触診、評価などの練習を実施しました。

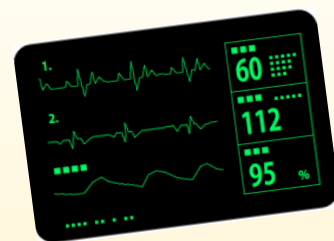


先輩方から体の触診の仕方や、関節の動かし方などを直接学びました。臨床で必要な技術を身につけることが出来ました。

6月

心電図講義
先輩療法士から、心電図モニターの見方や不整脈の見方・見分け方を学びました。

波形が示す意味や、緊急性の有無、リハビリ介入時のリスク管理などについて知ることが出来ました。



文責：山崎・落合（新人PT）

続く
後編へ

ひとことコラム PDCAサイクルとは？

皆さんは「PDCAサイクル」という言葉を聞いたことがありますか？
PDCAサイクルとは、「仮説検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めるために提唱された概念¹⁾」です。

目標達成のために①計画(Plan)を立て、具体的に②実行(Do)し、客観的に③評価(Check)、良かった点は継続、悪ければ④改善(Act)するという流れを循環させ、仕事の質の向上、効率化を図っていきます。

リハビリでは、このサイクルに事前の情報収集として⑤「調査」(Survey)が加わり、SPDCAサイクルとして用いています。このサイクルは、目標達成のためにどのような場面でも利用することが出来ます。皆さんもぜひ活用してみてください！



¹⁾ 野村総合研究所：PDCAサイクル用語説明

医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
■施設基準

- 心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
- 脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
- 廃用症候群リハビリテーション料
- 運動器リハビリテーション料Ⅰ
- 呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
- がん患者リハビリテーション料
- その他：摂食機能療法

心臓リハ部門



主任 理学療法士
津久井亮

病院リハ部門



主任 理学療法士
丸山あすみ

通所リハビリテーション関越中央

1～2時間の短時間通所リハ、6～7時間の長時間通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様に合わせた最適なプランを提案させていただきます。



科長 理学療法士
高井智子



主任 理学療法士
狩野和子

訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用頂けます。



主任 作業療法士
宮崎郁里

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9：00～10：15	△	○	○	△	○
短時間型通所リハ 2クール 10：30～11：45	△	△	/	○	○
長時間型通所リハ 9：00～15：15	○	○		○	△

空き状況	月	火	水	木	金
訪問リハビリ 13：00～17：00	△	△	○	○	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

各事業所に、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が在籍しています。

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71
TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829
アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

広報担当：宮崎 片貝 川合 小泉 古屋 嶋田